



# 楠の葉新聞

## 記事内容

- ・ 正解の無い社会とは
- ・ 延岡のランドマーク
- ・ AIの時代、世の中が変わる

# 正解の無い社会 いえ、正解がいくつもある社会

これからの社会は、正解のない問いに対応できる人間が生き残る時代だという言葉が聞きます。しかし、正解がないのではなく、正解がいくつもあると言った方が分かりやすいと思います。キャリア教育の視点からこの言葉の意味を考えてみます。

「目玉焼きに何をかけて食べますか？」こう聞かれて皆さんは何と答えますか。日頃、目玉焼きに何をかけて食べているか。アンケート結果があります。1位醤油、2位塩、3位ソース。4位ケチャップ、5位コショウ、以下、マヨネーズ、ラー油、タバスコ、マスタード・・・と続きます。

1位の醤油が正解？正解は醤油ではありません。そもそもこの問いに正解はありません。皆さんがかけている調味料が全て正解です。つまり正解はいくつもあるということになります。どうでも良い問いです。しかしこの問いの中に子どもたちがこれから生きていかなければならない社会の大切な考え方が隠れています。よりクローズドな質問をしました。クラスは「油派」と「ケチャップ派」にわかれた中には少数派の「塩」「ソース」も。「醤油」と「ケチャップ」から、最後はお互いのけなしあいになりました。もはや調



価値が多様化するこれからの社会では自己主張だけではより良い人間関係を築くことはできません。それはつまり、社会を構成する公民としての資質を十分に備えているとは言えないことでもあります。では、これからの社会を生きていくにはどのような能力やスキルが必要なのか。そこにキャリア教育の意義があると考えます。

そこで正解がたくさんある社会を生きていくために必要な力を次の5つと考えました。

### 【正解がいくつもある社会を生きていくための5つの力】

- ① 自分の考えを主張（発表）する力
- ② 相手の考えを聞き、受け入れる力
- ③ 自分の主張により相手に行動を起こさせる力
- ④ 相手の主張も試してみる（実践・試行）力
- ⑤ ①～④の力によりこれまでの主張の根拠や新たな考えを見つけ出し発信する力

これらは決して難しいことではなく、岡富中学校のキャリア教育の目的はこの5つの力の修得にあります。これらの力を修得することで、これからの社会を生きる能力やスキルが身につくと考え

## 宮崎県一高い建物

ベンベルグ工場に立つ赤白の煙突、延岡のランドマーク的存在です。高さはご存じだと思います。180mです。これは宮崎市にあるシエラトンホテル（154m）よりも高い建物です。この煙突の中に4本の煙突が入っているのはご存じでしょうか？



4本の煙突を大きく1つに束ねて立っているそうです。工場に煙突があると煙がモクモクと出ているイメージがあつてマイナスイオンの感じがしますが実はこの煙突から出ている排煙はほぼ無害です。さらにこの煙突は旭化成の火力発電による煙を排出するために使われています。延岡は宮崎県で最初に発電所が作られた地だそうです。延岡城最後の城主内藤政挙の功績だと言われています。水郷延岡、水力発電発祥の地延岡。宮崎県ここから九州一の水力発電電量を誇る県になりました。野口遵氏が延岡に工場を作ろうと手になつたのは、延岡に水力発電の火の玉を運ぶと知りました。普段何気なく見ている風景の中にも様々な物語が隠れて

## AIが世界を変える時代がそこまできています

イギリスオックスフォード大学の教授が発表した「仕事を奪われそうな職種」が話題になりましたが、一方で新たに生まれる仕事もあるそうです。

AI＝人工知能を使う仕事、コンピュータから派生する仕事、いずれにしてもコンピュータは生活の中心になることは間違いありません。またロボットも劇的に進化するかもしれません。今はロボットとAIには大きな違いがあります。AIは自ら考え判断し修正します。つまり学習して進化します。工場のロボットはプログラムされた作業を効率よく行うだけです。今後、AIの組み込まれたロボットが開発される・・・

鉄腕アトムは2003年に作られたことになっています。ドラえもんは2111年の未来からきました。ドラえもんは100年もかかれません。

日本では2020年までに自動運転車が実用化される予定です。

